

日本選手コメント【7月11日】

◆菅野新菜選手(みやぎ TFC) T20 400m 予選 2 組 = 予選通過

「今回初めての世界選手権でしたが、決勝進出できて良かった。(決勝は)世界の選手は予選より速く走ると思うので、全力で走りたいです。ホテルではまだ甘いものを食べていないので、決勝終わったら食べたいです」

◆松本武尊選手(AC・KITA) T36 400m決勝

「(アジア記録のタイムでフィニッシュで)結構速いと思った。タイムなどは気にしないがむしろに走りました。8 レーンということであまり周りを気にしないで走った。冷静に 300mを走ったが、最後の 100mは銅メダルが頭によぎってしまい、カんでしまった。」

◆村岡桃佳選手(トヨタ自動車) T54 800m予選

「思っていた通りのレース展開だったかなと思うが、最後のラストスパートでまくられてしまったのは私の力不足というかまだ私の足りない部分かな。決勝に進めなかったのは残念だが、100mにむけての感触は得ることはできたので残り 2 日で準備していく。」

◆澤田優蘭選手(エントリー)・塩川竜平アシスタント T12 走り幅跳び決勝 銅メダル

「今シーズンとしては一番良い跳躍だったと思うし、今の自分にできる最高のパフォーマンスができたと思う。これまでも 1 本目は気合を入れ過ぎて記録がでないことがありましたが、そこから上げていく自信があったので落ち着いて 1 本 1 本記録を上げていくつもりで跳びました。4 月末までは 5m に届かない試合、自分でも信じられないくらいの記録で落ち込んだ時期がありましたが、イタリア遠征などで自分の跳躍を見つめ直し、課題を分析して助走を立て直すつもりで練習してきた。他の選手の記録は気にならなかったが 5m20 以上は跳ばないといけないとは思っていた。」

◆生馬知季選手(GROP SINCERITE WORLD-AC) T54 400m予選 = 予選通過

「これまでの持ちタイムで自分より力のある選手がたくさんいたのはわかっていたので、自分の中ではどれくらい食らいついていけるか挑戦するつもりで走った。順位としてはまだまだ力不足だが、この大舞台で自己ベストをだせたこと、今回、世界大会の中で一番楽しめてレースができていたと感じたので良かった。雰囲気とか力のある選手達と会える、競い合えることが楽しめている。(インタビュー終わりで決勝進出が分かり)、決勝では応援してくれている方々のためにも精一杯走りたい。」